

流動性に係る経営の健全性の状況

本資料は、「銀行法施行規則（昭和57年大蔵省令第10号）第19条の2第1項第5号ホ等の規定に基づき、流動性に係る経営の健全性の状況について金融庁長官が別に定める事項（平成27年2月27日付 金融庁告示第7号）」に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

■ 単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、平成29年度第4四半期を掲載しております。

一 時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

「適格流動資産の合計額」が減少しておりますが、「その他資金流入額」が増加し「純資金流出額」が減少したことなどから、単体流動性カバレッジ比率は前四半期比ほぼ同水準の233.0%となりました。

また、単体流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で推移しており、大きな変動はございません。

二 単体流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

単体流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の合計額が純資金流出額を大幅に上回っており、十分な水準と認識しております。

三 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

四 その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項

「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。

■ 連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、平成29年度第4四半期を掲載しております。

一 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

「適格流動資産の合計額」が減少しておりますが、「その他資金流入額」が増加し「純資金流出額」が減少したことなどから、連結流動性カバレッジ比率は前四半期比ほぼ同水準の219.0%となりました。

また、連結流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で推移しており、大きな変動はございません。

二 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

連結流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の合計額が純資金流出額を大幅に上回っており、十分な水準と認識しております。

三 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

四 その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。

また連結流動性カバレッジ比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しております。

■ 流動性リスクに関する開示事項

一 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

当行では、取締役会の審議機関の位置付けとして「ALM委員会」を設置し、流動性リスクの適切な把握・管理、リスク対応方針の協議等を行っております。ALM委員会での検討内容等は定例的に取締役会に報告されており、経営陣による流動性リスクの適切なコントロール態勢が構築されております。

流動性リスクの各所管部署においては、「流動性リスク管理基本規程」に定めている流動性リスクのモニタリング、評価方法に従い、日次、月次等のサイクルで流動性リスクを把握、分析し、毎月開催されるALM委員会に報告しており、流動性リスクに対し組織的に対応できる体制が整備されております。

なお当行連結子会社に係る流動性リスクについても、連結子会社の資金繰り状況を月次管理しており、連結子会社を含めたグループ全体として適正な資金流動性の確保に努めております。

二 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

当行では、リスク水準を4段階（平常時、注意時、警戒時、緊急時）に区分し、リスク水準ごとに流動性維持目標額を設定し、リスク水準に応じた資金繰り管理を行っております。また、オフバランス取引を含めた満期区分別の資金流入・資金流出の把握に努め、運用予定額、調達可能額など流動性の確保状況を日次で管理することにより、適切な資金繰りに努めております。加えて、資金量増減、為替決済済、当行の株価等資金繰りに影響を及ぼすと想定される項目について日次でモニタリングを行っており、モニタリングの状況についてはALM委員会にて定期的に報告しております。

さらに、預金の流出、市場調達環境の悪化を想定したストレステストを実施しており、流動性リスク顕在時の対応策の検討に活用しております。

三 その他流動性に係るリスク管理に関する事項

当行では、外貨調達において、外貨預金の増強や外貨建転換社債型新株予約権付社債を発行するなど調達手段の多様化及び調達先の分散を図り、流動性リスクの削減に努めております。

また、流動性危機時には別に定める「風評等リスク対応計画及び預金流出危機管理計画（コンティンジェンシープラン）」において資金繰り対応策を策定しております。

■ 単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		平成29年度第4四半期		平成29年度第3四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	730,685		742,802	
資金流出額		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	2,543,885	208,769	2,526,710	207,904
3	うち、安定預金の額	663,139	19,894	650,043	19,501
4	うち、準安定預金の額	1,880,746	188,875	1,876,666	188,403
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	598,514	231,173	599,624	234,690
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	581,426	214,085	582,859	217,925
8	うち、負債性有価証券の額	17,088	17,088	16,765	16,765
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	779,375	81,708	785,707	81,438
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	25,075	25,075	24,215	24,215
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	754,299	56,632	761,491	57,223
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	9,250	4,089	11,228	4,204
15	偶発事象に係る資金流出額	7,157	151	7,361	147
16	資金流出合計額	525,892		528,385	
資金流入額		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	259,602	151,535	264,017	155,742
19	その他資金流入額	72,569	60,838	60,165	54,138
20	資金流入合計額	332,172	212,374	324,182	209,880
単体流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	730,685		742,802	
22	純資金流出額	313,517		318,504	
23	単体流動性カバレッジ比率	233.0		233.2	
24	平均値計算用データ数	59		62	

■ 連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項 目		平成29年度第4四半期		平成29年度第3四半期	
適格流動資産					
1	適格流動資産の合計額	730,685		742,802	
資金流出額		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	2,543,885	208,769	2,526,710	207,904
3	うち、安定預金の額	663,139	19,894	650,043	19,501
4	うち、準安定預金の額	1,880,746	188,875	1,876,666	188,403
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	591,472	224,131	592,653	227,718
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	574,383	207,042	575,888	210,953
8	うち、負債性有価証券の額	17,088	17,088	16,765	16,765
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	786,531	80,184	793,074	79,927
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	25,075	25,075	24,215	24,215
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	761,456	55,108	768,858	55,711
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	31,549	26,388	33,089	26,064
15	偶発事象に係る資金流出額	7,157	151	7,361	147
16	資金流出合計額	539,625		541,763	
資金流入額		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	253,356	145,289	257,867	149,592
19	その他資金流入額	72,568	60,837	60,164	54,137
20	資金流入合計額	325,925	206,127	318,032	203,729
連結流動性カバレッジ比率					
21	算入可能適格流動資産の合計額	730,685		742,802	
22	純資金流出額	333,497		338,033	
23	連結流動性カバレッジ比率	219.0		219.7	
24	平均値計算用データ数	59		62	